

別紙第十九

陸海軍松脂支援地域中央協定

昭和二十年六月十六日

陸軍燃料本部  
海軍省軍需局  
農商省山林局

松脂支援地域ハ從來ノ經緯ヲ一撤シ左ノ如ク協定ス

一、支援地域ヲ區分スルヲ本則トシ本區分ノ決定ハ地方總監府ニ於テ現  
地軍機關（陸軍燃料部、海軍燃料廠）ト協定ヲナス  
二、現地機關ハ支援地域ヲ協定スルニ當リテハ増産ノ大乗的見地ヨリ左  
ノ事項ニ留意ス

- 1 努メテ支援ノ現況ニ即セシムルヲ本則トスルモ精製輸送等ノ都合  
上要スレハ適宜ノ措置ヲトリ生産ノ澁滯精製ノ遅延ヲ避ケ夏期ノ  
好機ヲ失セサル如ク留意ス
- 2 現地協定ハ遅クモ六月末日迄ニ完了ス
- 3 本協定ニヨリ生スル各地區毎ノ不均衡ハ大乗的見地ヨリ之ヲ忍ハ

7711

1176

29

モノトス

三、

陸海軍配分ハ一應物動配分トスルモ其ノ取得ハ先ツ支援地域ヨリノ生産品ヲ充當シ其ノ過不足ノ按配ハ別途考慮ス

一般用トシテ生産実績ノ約二割ヲ確保シ其ノ取得要領ハ別途定ム

四、

支援地域ノ設定ニヨリ現ニ陸海軍ノ支援シアル資材ニ止ムヲ得ス混滑生スル場合ハ現地ニ於テ支援擔任軍ニ交付スルヲ本則トシ細部ハ

現地協定ニヨル

「註」

中國、四國ニ於ケル支援地域ハ岩燃吳鎮ノ既存協定（中國ハ陸軍、

四國ハ海軍）ヲ中央ニ於テ確認ス

生松脂精製工場所在地一覽表

一、日本油脂統制株式會社(關東)

會社名	工場所在地
一、關西ペイント株式會社	大阪市西成區梅南通六ノ八
二、	香川縣仲多度郡笠岡村大字弘田一七一ノ一
三、	大阪市城東區今福町五ノ三二
四、日本樟腦化學工業株式會社	兵庫縣武庫郡木庄村西青木字福井池
五、住友通信工業株式會社	群馬縣高崎市大橋町一七八
六、不二化學精油合資會社	福井市木田町二二
七、櫻田化學工業株式會社	愛媛縣宇和島市元結掛一八二
八、王子製紙株式會社	八代市福正町一四四八
九、神東塗料株式會社	尼崎市尾濱字國廣一
一〇、三里濱販賣利用組合聯合會	福井縣坂井郡新保村三五
一一、旭樹脂工業株式會社	神奈川縣鎌倉郡大船町大船七三五
一二、日本ペイント株式會社	川崎市上丸子一三八七
一三、昭和樹脂化工株式會社	宮城縣宮城郡廣瀨村字下愛子八
一四、朝日樹脂工業株式會社	三原市宮沖町一七七八
一五、川上塗料製造所	尼崎市塚口四二〇
一六、中村塗料製造所	大阪市大正區福町二ノ四一
一七、日本油脂株式會社	栃木縣那須郡高林村青木

二、國產松脂類製造協會(關東)

會社名	工場所在地	利用區分
○石川化學	兵庫縣篠山	D B
○日本パソール	大阪市堺	P
○東海化學	沼津市小諏訪	B
○帝國樹脂	大阪府柏原町	B
○日本林産	廣島縣豐田郡	B
○東洋化學	山梨縣東山梨郡	D
○昭和樹脂	宮城縣宮城郡落合村	D
○旭樹脂	大船	B
○興亞樹脂	徳島縣川内	B
○東亞樹脂	宮城縣妻	B
○三重縣相可	三重縣相可	B
○徳島市	徳島市	B
○和歌山縣伊都郡九度山	和歌山縣伊都郡九度山	D
○高知市港町	高知市港町	D

○ハ會社側海軍共ニAノ利用ヲ認メアリ

別紙第二十一

樟腦、樟腦油緊急増産対策措置要綱

昭二〇、三三〇  
閣議決定

第一 方針

最近ニ於ケル戦局ノ推移ニ鑑ミ航空燃料、軍需資材、選礦劑等ノ重要資源タル樟腦及樟腦油ノ飛躍的需要増加ニ對處シ之カ供給ヲ確保スルハ刻下緊急ノ要事ナルヲ以テ樟腦及樟腦油ノ劃期的増産ヲ急速ニ實現シ以テ戦力ノ充實増強ヲ圖ルモノトス

第二 要領

- 一 昭和二十年年度ニ於ケル生産目標ヲ樟腦、樟腦油合算七、九〇〇千疋（樟腦ニ換算五、五〇〇千疋）トスルコト
- 二 官公有樟樹ノ供出ヲ率先實行スルコト
- 三 樟腦及樟腦油ノ生産者ニ對シ生産責任量ヲ指示シ之ヲ達成セシムル如ク強力ニ推進スルコト
- 四 關係地方長官及市町村長ハ生産目標額ヲ達成スル如ク積極的ニ協力スルコト

備考

- 五 樟腦及樟腦油ノ生産並ニ之カ精製加工ニ必要ナル勞務者ノ充足ニ付 特段ノ措置ヲ講スルノ外必要ニ應シ學徒ノ動員及農山村民ノ協力ヲ 爲サシムルコト
- 六 樟腦及樟腦油ノ生産並ニ之カ精製加工ニ必要ナル資材ハ各省協力シ テ之ヲ確保スルコト
- 七 樟腦及樟腦油ノ優先輸送ニ付特段ノ措置ヲ講スルコト
- 八 本對策ノ趣旨ノ徹底ヲ圖リ之カ實效ヲ擧ケンカ爲内務省、陸軍省、 海軍省、文部省、厚生省、農商省、軍需省及運輸通信省ノ協力ヲ得 樟腦及樟腦油ノ増産運動ヲ實施スルコト

台灣ニ於テモ内地ニ照應シ樟腦及樟腦油ノ生産増強ニ關シ必要ナル措 置ヲ講スルコト

製 艦 各 縣 別 設 備 計 畫

縣別	現在電數	併設電數	新設電數	計數	整備輸送擔任區分
千葉	四	一		五	
神岡	一〇	六	二	一八	
愛知	一			一	
三重	一三	五		一八	
和歌山	二三	六		二九	
岡山			五	五	
山口	五	二		七	
高知	四七	一五	三	六五	
徳島	一〇	五	二	一七	
香川	三	二		五	
愛媛	一六	一〇		二六	
熊本	八六	二五		一一一	
大分	二六	一一		三七	
福岡	四九	二六	二〇	九五	
佐賀	五四	二六	二	八二	
長崎	七五	三五	四	一一四	
鹿児島	三三	一一	六	五〇	
宮崎	四三	一一	二〇	七五	
合計	七九〇	三三〇	一三〇	一二三〇	
▲擔當數	四二八	一七三	四七	六四八	

備考 一陸海軍共ニテ「ロストル」パイプ」其ノ他ノ資材整備並ニ輸送迄ヲ擔當ス  
ルモノトス

- 二「ロストル」ハ福岡燃料部ニテ擔當シ輸送スルモノトス
- 三四國出張所ニハ九州燃料部ヨリ送付「ロストル」ヲ送付ス
- 四細部ニ關シテハ真賣局下連絡ノ上實施スルモノトス
- 五鹿児島縣下ニ於テハ陸軍機務ハ二四七基ナリ

別紙第二三

苧麻緊急増産対策措置要綱

第一 方針

奇烈ナル戦局ノ現況ニ鑑ミ航空汽油原料タル苧麻子ノ増産ヲ期スルハ刻下ノ喫緊ノ要務ナルヲ以テ荒蕪地、空閑地等ノ活用ニ依ル苧麻ノ増産ヲ圖リ其ノ全生産量ヲ陸海軍ニ供シ以テ戦力ノ充實増強ニ寄與セシトス

第二 目標

昭和二十年度ニ於ケル苧麻子ノ生産目標ハ三萬噸トス

第三 措置

本事業達成ノ爲左ノ措置ヲ講スルモノトス

一 苧麻子ノ生産ハ地方長官ノ責任制トスルコト

二 苧麻子ノ生産指導ハ中央農業會及系統農業團體ニ於テ苧麻子ノ集荷

ハ全國農業經濟會及系統農業團體ニ於テ之ヲ行フモノトスルモ六

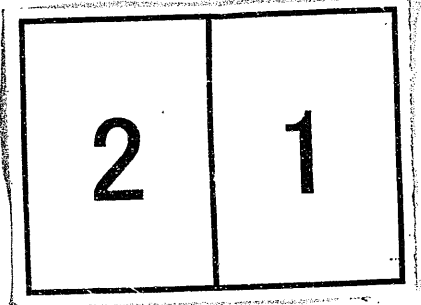
大都市ノ市街地域ニ在リテハ區長ノ責任ニ於テ町内會及隣組之ニ

當ルモノトスルコト

- 三 大政翼賛會、關係團體及國民學校ハ全面的ニ本事業遂行ニ協力スルコト
- 四 産出ノ優先輸送ニ付特段ノ措置ヲ講スルコト
- 五 本事業實施ノ爲必要ナル豫算的措置ヲ講スルコト
- 六 本事業實施ニ關シ農商省内ニ關係各省並ニ關係團體ヨリ成ル中央  
七 緊急増産協議會ヲ設ケ各都府縣ニ地方ヒマ緊急増産協議會ヲ  
設クルコト
- 八 産出ノ價格ニ付テハ之カ増産ニ對處シ適正ヲ期スルト共ニ成績優  
良ナル向ニ對シテハ褒賞其ノ他ノ方途ヲ講スルコト
- 九 農業用及運輸用等潤滑油ノ還元配給又ハ代替油ノ拂下ニ付考慮ス  
ルコト
- 十 産出原料ノ利用ニ關シテハ別途其ノ措置ヲ講スルモ産出ノ生産又  
阻害スルモノハ之ヲ抑制スルコト
- 十一 本件ハ外地ニ於テモ強力ニ之ヲ實施スルコト



## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	昭和20年度苧麻生産割当表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

昭和二十年陸海軍生産調査表

軍管區別		地區別		生産割當數目(屯)		栽培本數目標(千本)		同上所要種子量(斤)	
北	部	北海道		八四九一	八四九	六六一五			
東	北	青森		五二八	五八〇五	四五二四			
		岩手		六一一	六七二二	五二三八			
		宮城		四八〇	五二八二	四一一六			
		秋田		五六一	六一七四	四八一二			
		山形		五八八	六四七一	五〇四三			
		福島		八五四	九三九六	七三二三			
		茨城		九九七	一〇九六九	八五四七			
		栃木		六三〇	六九二七	五三九七			
		群馬		六七八	七四六〇	五八一四			
		埼玉		八九五	九八四七	七五〇九			
		千葉		八九九	九八八八	七七〇四			
		東京		三八八	五三五四	四一七一			
		神奈川		四二八	四六八三	三六四八			
		山梨		四二七	四七〇三	三六六六			
		長野		一一一五	一二二六五	九五二八			
		新潟		一一三五	一二四九一	九七三二			
		富山		四二〇	四六一一	三六〇〇			
		石川		四三二	四七四九	三七〇二			
		福井		三五九	三九五〇	三〇七八			
		岐阜		七二八	八〇一三	六三四三			
		静岡		九四四	一〇三八〇	八〇八八			
		愛知		一〇〇二	一一二〇六	八五八九			
		三重		六八一	七五三二	五八六八			
		滋賀		四七	五二四一	四〇八三			
		京都		四二	四六八三	三六七五			
		大阪		七七	八四七四	六六〇二			
		兵庫		一〇〇二	一一〇二六	八五九二			
		奈良		三四〇	三七四五	二九一九			
		和歌山		四三一	四七四五	三六九六			
		鳥取		三〇九	三七九七	三六四六			
		島根		五二三	五七五三	四四八二			
		岡山		八五八	一五四三五	七三五三			
		広島		九五	一〇五三四	八二〇八			
		山口		六三一	六九三七	五三八八			
		徳島		四二二	四六四二	三六一八			
		香川		四四七	四九一三	三八二八			
		愛媛		六七六	七四三九	五七九六			
		高知		四三二	四七四五	三六九六			
		福岡		七九六	八七六一	六八二八			

東

西

中

東

西

備考

葛麻種子一升(一合)子實粒數三八五〇(三五〇)粒トシテ計算シ  
栽培本館一本ニ對シ種子三粒ヲ用ル

計	西部					四國					中部					東海											
	廣 島	宮 崎	大 分	熊 本	佐 智	福 岡	高 知	愛 媛	香 川	徳 島	山 口	廣 島	岡 山	島 根	鳥 取	和 歌 山	奈 良	兵 庫	大 阪	京 都	滋 賀	三 重	愛 知	靜 岡	岐 阜	福 井	石 川
三〇二一五	一二二六	四九五	六二五	七五八	三五七	七九六	四三三	六七六	四四七	四二二	六三一	九五	八五九	五二三	三〇九	四三一	一〇〇二	七七	四二	四七	六八一	一〇〇二	九四四	七二八	三五九	四三一	四二〇
三三三三九〇	一三四八五	五四四六	六八八一	八三四一	三九二九	八七六一	四七四五	七四三九	四九一三	四六四二	六九三七	一〇五三四	一五四三五	五七五三	七四四五	三七四五	一一〇二六	八四七四	四六八三	五二四一	七五三二	一一二〇六	一〇三八〇	八〇一三	三九五〇	四七四九	四六一一
二五八七三八	一〇四三一	四二四五	五三六一	六四九八	三〇六三	六八二八	三六九六	五七九六	三八二八	三六一八	五三八八	八二〇八	七三三三	四四八二	三六九六	三九一九	八五九二	六六〇二	三六七五	四〇八三	五八六八	八五八九	八〇八八	六二四三	三〇七八	三七〇二	三六〇〇

昭和二十年度産苧麻搾油工場

軍管區別 (与割當量屯)	候補工場名	同上所在地	能 力 (年間屯)	備 考
北海道 (一七七三)	北海製油株式会社	小樽市入船町六ノ八	五〇三〇	
	北東製油株式会社	帯廣市東五條南六丁目二	二六八〇	
東 北 (三六二二)	北海道農業會旭川工場	旭川市永山村新旭川四九八	三九〇〇	
	弘前油脂工業株式会社	弘前市和徳元一三九ノ六	一四四〇	
	宮城油脂工業株式会社	仙台市小田原廣町一〇	一〇八〇	
	秋田農業會	秋田市土崎港相築新田中島上 一七	八〇〇	
東 部 (七五八八)	日清製油株式会社	横濱市神奈川區千若町一ノ三	一三〇〇〇	戰災移設中 (指)
	同	同	一三〇〇〇	
東 部 (四五六九)	群馬製油株式会社	群馬縣一宮郡館林町一八八九	一三〇〇	
	昭和産業株式会社	茨城縣市茨城郡河和田村赤塚 一八五〇	二六〇〇	
	松本利作	新潟市沢垂一五六七	三六〇	
	長野縣農業會村井工場	長野縣東筑摩郡芳川村村井町 二二三	一一八〇	
	能澤製油株式会社	四日市市末廣町二	六六〇〇	(指)
	帝國理化學工業大野工場	愛知縣知田郡大野町橋高五六 ノ一	四三〇〇	
	北陸油脂化學株式会社	富山市入船町六三	一三〇〇	
	福井製油株式会社	福井市山奥町杉中三	一五〇〇	
	吉原製油株式会社	西宮市今津眞砂町一四	七九七〇〇	(指)
	興田製油所	滋賀縣神崎郡五峰村稻子五九	一三三四〇	
中 部 (三四四六)	攝津製油株式会社	大阪市福島區安井町一六	四三六〇〇	
	吉原製油株式会社	西宮市今津眞砂町一四		
	富國製油株式会社	廣島市舟入川町五九八ノ一	九五〇	
	吉原製油株式会社	西宮市今津眞砂町一四		
中 國 (三二七九)	愛橋農業會	松山市富田町二九七ノ一	六〇〇	
	高橋正會	香川縣小豆郡湊崎村湊崎甲一 九〇三	一四四〇	
	日華油脂若林工場	若松市若津町開七三	九九一〇〇	(指)
西 部 (四二九七)	九州電業化學工業株式会社	熊本市手形本町二四	五四〇	

備考 能力ハ晝夜作業年二〇〇日操業トス